

報道発表資料

財団法人京都工場保健会

2004年8月18日

IT利用の新サービス・フェニックスケア™のスタートと、 EBM/EBHを実現するコンソーシアム設立について

財団法人京都工場保健会¹（田中千秋会長、昭和15年設立、京都市中京区）は、メイプル株式会社²（泉侑佑社長、大阪市北区）の健康支援ITソリューションを採用し、ITを利用した健康支援システム・フェニックスケア™を同社と共同開発。2004年9月1日から試験サービスを開始することとなりました。

フェニックスケアは、最新のIT技術を利用したシステムを核として、医療および保健医療を革新するEBM/EBH³サービスを実現するものです。個人の健康診断記録、および日々の健康記録をデータベース化し、1)個人の健診記録の保管と閲覧サービス、2)個人による日々の健康維持のためのパーソナル健康支援サービス（健康手帳）の二つを提供すると同時に、システムの利用者に対して、専門家によるコンサルティングを提供する「健康コンシェルジェサービス」を提供します。

利用者は、インターネット接続されたパソコン、もしくはNTTドコモの携帯電話・FOMAを使って、自身の健診記録をいつでも、どこからでも確認できます。健康コンシェルジェサービス利用時や万一の通院の際は、専門家に自身の健診記録や健康手帳の記録を見せることで、事実に基づいた、よりよいアドバイスや治療を受けることが可能となります。

フェニックスケアのサービス開始にあわせ、京都工場保健会は健診記録をIT処理することで得られる統計学的な知見を生かし、EBM/EBHを発展させ、健康を願う人々に科学的根拠に基づいたよりよい保健医療サービスを提供することを目的とした「近畿健康情報・指導提供サービスフォーラム」（武田和夫⁴会長）を設立します。このフォーラムは、京都工場保健会、メイプルとともに京都府、京都府立医大、大手企業数社の健康管理センター、スポーツ関連企業、外食産業などにより形成され、本年度より経済産業省から支援をうけることになりました。

[本サービスの背景]

従来、健康診断は、一過性のリトマス試験紙としての役割しか果たしていませんでした。

¹ <http://www.kyotokojohokenkai.or.jp/>

² <http://www.meipull.co.jp/>

³ EBM=Evidence Based Medicine（科学的根拠に基づく医療）/ EBH=Evidence Based Healthcare（科学的根拠に基づく保健医療）

⁴ 財団法人京都工場保健会会長

要注意項目があれば、その場では留意しますが、すぐに忘れてしまうものです。人間の身体は時系列でその変化をみるのが重要なのに、過去の健診記録を記した検査票をきちんと保管している人は滅多にいないという現実があります。そしてこのことは、「病気になったら手厚いケアが与えられるが、病気の一步手前の人々にはほとんどケアがなく、放置されている」という我が国の現状と合致しているのです。

その一方で、科学的根拠の薄弱な、怪しげな健康法が毎日のようにテレビで紹介され、またそれが高視聴率を獲得しているのも、我が国の現状です。「健康にいい」「おいしい」と喧伝された湧き水を生活水として使うことが流行した地方で、1年後には結石患者が増えてしまったという笑い話があるほどです。

IT を使った新サービスと、専門家による健康コンシェルジェサービスの提供、そして、蓄積される科学的データをもとに、EBM/EBH を推進するフォーラムの活動から成り立つ「フェニックスケア・プロジェクト」は長年の健診のノウハウと蓄積のある財団法人京都工場保健会が、健診を軸に展開する、科学的根拠のある保健医療サービスを開発・普及させるプロジェクトです。

フォーラムを通じて、フィットネスクラブや外食産業などとも積極的に手を結び、「いつまでも健康でありたい」と願う人々に向けて、必要なサービスを開発・提供していきます。とくにこのプロジェクトは、自覚症状の乏しい生活習慣病のリスクを抱えているのに、ケアのないまま日々を過ごしている人々や、退職とともに企業からの健康支援が得られなくなった人々、企業に属していないがために、ヘルスケアが後回しになってしまっている人々に対して、有効なものであると自負しています。

[補足]

1. 本プロジェクトは、科学的根拠に基づく正しいヘルスケアの具体的な方法論を開発・普及させ、人々の健康維持を支援し、増大する一方の我が国の医療費を大きく削減させることを目標としたプロジェクトであり、その内容が評価され、経済産業省の健康産業創出支援事業に採択されています。
2. 本プロジェクトの推進のため、フェニックスケアの営業と、関連する EBH サービスを展開する新会社・EBヘルスケア株式会社を2004年9月1日付で設立の予定です。
3. フェニックスケアシステムの構築にあたっては、個人情報漏洩問題の対策に万全を尽くしました。個人情報を分散管理し、外部からの攻撃はもとより、内部犯行も防ぐ設計となっています。利用者みなさまに安心してお使いいただけます。

【報道関係者様、一般の皆様のお問い合わせ先】

財団法人京都工場保健会 担当 田中 勝（総務部）

連絡先電話番号 (075) 802-0131

住所 〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 67 番地